



日本共産党 北区議会議員

野口まさと 区政レポート

のぐち将人

No.12 2016.10.26

発行：日本共産党北区議員団
〒114-8508 王子本町1-15-22
info@noguchi-masato.com
ご相談は
お気軽に 070-5658-0603

立体交差化は「地下化」で

十条まちづくり特別委員会報告

十条駅地下化は
住民の願い

10月14・15日
に、埼京線十条駅付近
の連続立体交差事計画
の都市計画案・環境影
響評価案の説明会が開
催されました。

14日は王子第5小
学校に342人。15
日は荒川小学校に21
7名が参加しました。

住民の皆様からは、
東京都が示した高架案
に対して、防災・暮ら
し・環境、さらにはこ
れまでの経緯に至るま
で、様々な問題点や多
くの疑問の声が出され
ました。

(下記枠内をぐらんくだ
さい)

地下化は旧国鉄
と北区との約束

十条駅付近の地下化
は、昭和51年11月

に国鉄の赤
羽線輸送力
増強計画に
北区が同意
をする上で
の主要条件
でした。
この約束は
国鉄が民営
化されるに
あたり、現
在のJRに
も引き継が
れて現在に
至ります。
(裏面資料
参照)

説明会で出された住民の声

- ・地下化なら延焼遮断機能も確保できる。避難路ともなる。西側の消火活動困難区域も解消できる。
- ・震災が発生した場合、高架で大丈夫か。
- ・高齢世帯が多い地域で立退きのできない人もいる。
- ・住民の精神的なことを考えていない。
- ・高架案とするときに、なぜ住民の声を聞かなかったのか。
- ・数百億円の費用をかけるなら、騒音や振動は無くなった方がよい。
- ・木造低層住宅が多いのだから、景観にも影響があるはずだ。
- ・騒音の測定位置がおかしい
- ・国鉄時代は区のために地下化としていたのではないか。
- ・住宅取得時に区に地下化と確認を取って家を建てたのにおかしい。
- ・長生きするなら・・・といっているが、高架はこれと正反対。

北区が示していた「地下化」の案

これは、北区がこれまで区民に対して示していた十条駅周辺の整備のイメージ図です。中央の駅前広場東側に地下化された十条駅が示されています(十条・東十条・王子神谷駅周辺地区まちづくりブロック構想(平成7年9月))



十条駅周辺の整備イメージ

※現在の計画とは異なります

特別委員会でも質疑

10月24日には区議会でも十条まちづくり特別委員会が開催されました。

私も皆様から出された意見を紹介しながら、側道設置により120棟もの立退きが生じ、沿線住民の大きな負担となること、このような住民への影響がまったく考慮されないまま構造形式が決められた経緯の不透明さを追及し、区民の要望に沿った計画とするよう求めました。

「適切な構造形式」をどう考えるか

平成26年に北区議会が、全会一致で採択した陳情「適切な構造形式で立体交差化を進めること

とする」。これを理由として東京都は、地下化でなくとも問題ないとの認識です。特別委員会では、与党の委員からも同じような発言がされています。

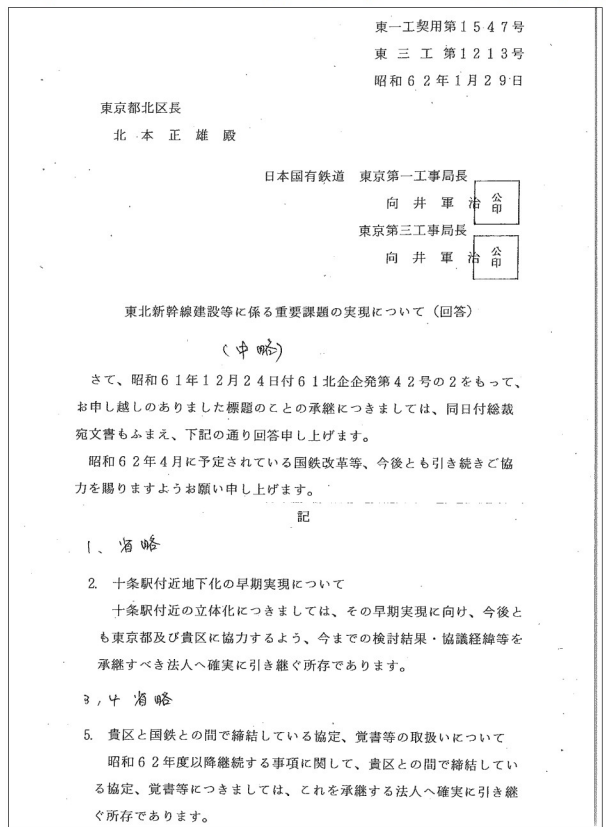
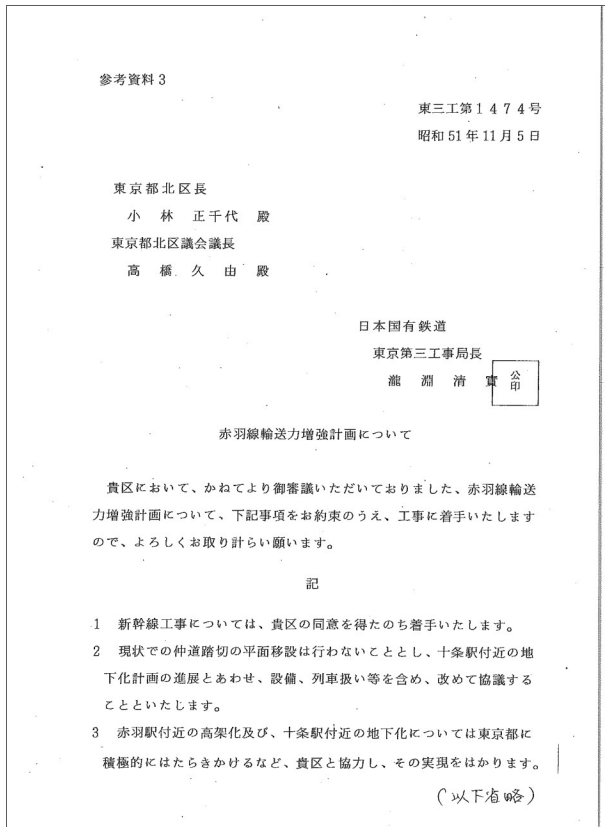
この陳情は、平成26年第2定例会の地域開発特別委員会において審議が行われています。その質疑の際に、日本共産党の八百川孝議員は、「適切な構造とは地下化なのだということを重ねて申し上げておきたいと思えます。」と、区民の要望を無にしないよう、北区に対して改めて求めたいです。

今回の特別委員会で私は、高架構造を求める区民要望があったのかを区に問いましたが、そのような要望は区は受けていないとの回答でした。あえて高架にしてほしいとの要望がないのであ

れば、北区は区民要望の強い地下化を推進するべきです。

東京都は事業費の多寡を理由に高架構造が適切だと説明していますが、比較された事業費の積算根拠は明らかにはされていません。

沿線住民の生活にプラスになり、かつ立退きなど区民負担のない地下化での事業実施を引き続き北区に求めてまいります。



旧国鉄と北区が、赤羽線輸送力増強計画を進めるにあたり交わした文書。「十条駅付近の地下化の実現をはかります」との文言が示されています。

国鉄が民営化されるにあたり、十条駅地下化をJRに「確実に引き継ぐ」ことが示されています。